

歯科口腔外科

《概要》

当科は口腔外科一般全てのことを行っているが、特に専門分野の頭頸部悪性腫瘍に力を入れている。そのほか口腔顎顔面領域の腫瘍、顎顔面形成外科(唇顎口蓋裂、顎変形症)、粘膜疾患(口内炎や舌痛症)に多くの実績があり、炎症、顎顔面外傷、神経疾患(三叉神経痛、非定型顔面痛)、顎関節疾患、歯科インプラント、インプラントのための造骨手術、および重篤な合併症を有し一般歯科では治療困難な有病者の歯科治療、入院中の患者の歯科的対応・応急処置を扱っている。また隣接する府立泉州救命救急センターからの顎顔面外傷・歯科疾患の処置依頼やコンサルトにも多く対応している。

初診構成は、地域の歯科・医科の医療機関からの紹介を中心とし、大阪大学(吹田市)からの南大阪・和歌山地域の患者紹介や、インターネットや書籍で当科が紹介されているため府外遠方からの紹介など、院外からの紹介患者が約6割を占め、他は院内紹介・紹介のない患者で構成されている。

手術は患者の生活リズムをできるだけ崩さないよう、クリーンルームを使う必要のある症例でも、日帰りの外来手術を有効に利用している。一般に長期入院になりがちな再建の必要な悪性腫瘍でも、当科では2週間で退院できるクリニカルパスに従い、通常2～3週間の入院で、早期の社会復帰を可能にしている。

当科の大きな特徴として、頭頸部癌の集学治療に非常に多くの治療方法を取り入れていることである。様々の国内国外の学会などを通じて、多くの先生との交流があり、遠方から当科を紹介されることもしばしばである。母教室である大阪大学の関連病院からの紹介や、種々の媒体での当科紹介をみて直接お越しになるケースもあります。他院の口腔外科・耳鼻科で治療の中断を余儀なくされたいわゆる頭頸部癌の『がん難民』の救済に、当科でのサルベージ手術・動注化学療法・放射線科の血管内治療による一連の治療が奏功している。

[ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)]当科は大阪大学第2口腔外科、京都大学原子炉実験所(熊取町)共同し、2001年頭頸部悪性腫瘍のホウ素中性子捕捉療法(BNCT)を世界で初めて行い、症例・実績とも世界をリードしてきた。このBNCTは、2006年3月の京大原子炉(KUR)の運転中止を期に当地でのBNCTは一旦中止していたが、2010年5月より再開されます。また京都大学原子炉実験所では、世界で初めて加速器を用いたBNCTが行われる予定で、加速器によるBNCTは、医療施設に隣接した専用施設を併設することができることを意味し、重粒子線なみの普及が可能となり得ます。

《実績》

手術症例 平成21年4月～平成22年3月

① 外来手術 [症例]

抜歯	埋伏歯抜歯術	681(554)	インプラント除去術	6(9)
	単純抜歯	262(358)	インプラント留置術	10(4)
外傷	非観血的整復固定術	3(10)	歯根尖切除術	20(15)
	軟組織外傷縫合術	3(3)	唾石摘出術	5(6)
嚢胞	顎骨嚢胞摘出術	2(8)	ガマ腫開窓術	2(5)
	軟組織嚢胞摘出術	28(15)	埋伏歯開窓術	3(3)
良性腫瘍摘出術		26(20)	歯牙移植術	8(5)
生検		39(34)	小帯形成術	4(4)
口腔上顎洞瘻閉鎖術		2(4)	抜釘術	4(4)
骨隆起形成術		6(6)	軟組織・硬組織搔爬術	1(1)
歯槽堤形成術		2(4)		

()内平成20.4～平成21.3 実績

② 入院手術

[症例]

顎 骨 骨 折	観血的整復固定術	下顎骨折	14 (10)
		上顎骨折	1 (1)
		頬骨骨折	1 (1)
		多発骨折	0 (0)
	プレート除去術		13 (11)
腫 瘍	良 性 腫 瘍		9 (5)
	悪 性 腫 瘍	下顎歯肉癌	5 (9)
		上顎歯肉癌	0 (1)
		舌癌	6 (1)
		口蓋癌	0 (1)
		口底癌	1 (3)
		頬粘膜癌	3 (0)
		上顎癌	1 (0)
		口唇癌	0 (0)
		耳下腺癌	1 (0)
		全頸部郭清術(のみ)	3 (1)
		動注カテーテル留置術 (各種頭頸部癌)	3 (16)
		局所注射(抗癌剤等)	0 (4)
囊 胞 摘 出 術	下顎嚢胞	8 (11)	
	上顎嚢胞	5 (5)	
	術後性上顎嚢胞	2 (0)	
形 成 手 術	皮膚再建術	1 (0)	
	下顎再建術	4 (2)	
	上顎再建術	1 (0)	
	下顎枝矢状分割術	4 (1)	
	上下顎骨切り術	1 (0)	
	舌小帯延長術	2 (0)	
	口唇形成術	3 (1)	
口蓋形成術	0 (1)		
そ の 他	抜歯	2 (1)	
	歯性上顎洞炎根治術	0 (2)	
	インプラント除去術	0 (0)	
	唾液腺摘出術	0 (2)	
	ガマ腫開窓・摘出	2 (1)	
	頸部腫瘍摘出術	0 (2)	
	耳下腺腫瘍摘出術	1 (0)	
	唾石摘出術	0 (0)	
舌弁による再建・閉鎖	0 (1)		

()内平成 20.4～平成 21.3 実績

《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2009.4～2010.3)

番号	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Effectiveness of boron neutron capture therapy for recurrent head and neck malignancie	. I. Kato, Y. Fujita, A. Maruhashi, H. Kumada, M. Ohmae,	Applied Radiation and Isotopes	67	S37-S42	2009

(2) 学会研究会報告 (2009. 4~2010. 3)

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
1	『頭頸部がん治療におけるBNCTの役割』	加藤逸郎 大前政利 藤田祐生 他	JST「独創的シーズ展開事業 委託開発」 「ホウ素中性子捕捉療法に用いるホウ素薬剤」事業 キックオフミーティング 5/26/2009 大阪府立大学中之島サテライト	2009. 5. 26
2	『再発頭頸部悪性腫瘍患者に対するホウ素中性子捕捉療法と免疫細胞療法との併用』	加藤逸郎 大前政利 藤田祐生 他	第 6 回日本中性子捕捉療法学会学術大会	2009. 9. 19-20
3	『広範に浸潤する頭頸部がんに対するホウ素中性子捕捉療法』	加藤逸郎 大前政利 藤田祐生 他	第 47 回日本癌治療学会学術集会	2009. 10. 22-24
4	『当科の頭頸部悪性腫瘍におけるBNCT患者の過去 8 年間の治療成績』	加藤逸郎 大前政利 藤田祐生 他	平成 21年度京都大学原子炉実験所専門研究会	2010. 2. 19-20
5	AWORD "R.Earl Robinson Periodontal Regeneration Award"	to Masatoshi Ohmae	American Academy of Periodontology	Sep. 15, 2009

(3) 学術講演 (2009. 4~2010. 3)

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	『頭頸部がんのあきらめない治療』 — 口腔癌の診断・標準治療そして進行頭頸部癌を救う新しい治療	大前政利	市民健康講座／市立泉佐野病院	2009. 4. 18
2	『頭頸部がんの諦めない治療』 — 口腔癌・頭頸部癌の診断とがん難民を救う様々な治療の実践	大前政利	りんくうアトム 1000／泉の森ホール	2009. 7. 11
3	『頭頸部がんのあきらめない治療』 — 当科における集学治療	大前政利	臨床集談会／市立泉佐野病院	2009. 9. 24
4	『頭頸部癌のあきらめない集学治療』	大前政利	泉佐野泉南薬剤師会／市立泉佐野病院	2009. 11. 12
5	『がん難民を救う！頭頸部がんのあきらめない治療』 — 当科での集学治療そして進行頭頸部癌を救う新しい治療	大前政利	なにわ Doctor's ネットワーク／北浜フォーラム	2010. 2. 24

(4) 院内研究活動 (2009. 4~2010. 3)

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	口腔粘膜疾患／NST	大前政利	2009. 9. 17